

講演会「身近な犯罪の防止について」

2月23日(金)鷹番住区センターで、碑文谷警察署防犯係によるスライドと、講演が行われました。鷹番住区住民会議防犯部会主催で、参加者は50名弱。関心の高さがうかがわれる講演会でした。

碑文谷警察署防犯係の講演(要旨)は、下記の通り。

特殊詐欺の現況

1. オレオレ詐欺

管内 年間28件 5,000万円

今年 4件 500万円

被害者の92%が女性。母性愛、母性本能をくすぐる、訴える手口

電話1本で、100万円単位を出してくれ、ということはない。

自宅の電話を常に留守番電話に設定しましょう。

2. 架空請求詐欺

メールで「有料サイトの利用料金が未納」などと架空請求。アダルトサイトなどは、支払い期限を設け、支払われなければ裁判を起す、という。そしてプリペイドカードを購入して支払うよう指図する。

いわれた方は、何かの拍子に触れたのではないか、とってしまう。

無視するのがいい。

3. 還付金詐欺

区役所の職員を装って、「医療費、保険料、」年金等の還付金があります。キャッシュカードとケイタイ電話を持ってATMに行き、折り返し電話をくださいなどと電話をかけてくる。ATMから還付金が戻ることはない。確定申告の還付金でも各人の口座に振り込んでいる。

「お金が戻る」となると、無防備になり、5分でお金を引き出されてしまう。

4. 当選金詐欺

「宝くじが当たりました。10億円入るので手数料10万円を振り込んでくれ」と言ってくる。買った覚えもないのに、だまされてしまう。

5. 募集詐欺

A社から「老人ホームの権利当たった」と言ってくる。「いりません」と断ると、次にB社が「流してもいいですか。もったいない」そして「配当金もいりません」こうして別の日に別の社が電話してくる。次第に「もったいない気」がしてくる。この場合、事前にパンフレットが届くことが多い。

このような詐欺で、昨年2100件、43億円の被害があった。問題があったら、すぐに110番しましょう。

「うちにお金はない。1円たりとも渡さない」という気持ちを持ちましょう。危機管理を徹底し、防犯意識を高めましょう。

(文責:広報部)